

NPO法人学習障害児・者の教育と自立の保障をすすめる会（名古屋市） 学校から社会の移行期における継続的な学習に関する実践研究

NPO法人学習障害児・者の教育と自立の保障をすすめる会について

- ・平成2年、任意団体「学習障害児の高校教育をもとめる会」として発足。学習や発達上の困難を抱える子どものための見晴台学園（無認可5年制高校）を開設。
- ・平成7年、「学習障害児・者の教育と自立の保障をすすめる会」に改称。見晴台学園に中等部を開設。
- ・平成12年、NPO法人取得。
発達障害・知的障害のある本人、家族、教員、福祉施設職員、大学教授等で構成。
- ・平成13年、見晴台学園卒業後の生涯支援を目的に自立支援センターるっくを開設。
- ・平成25年、発達障害青年の要求に応える高等教育の充実を目指して見晴台学園大学（法定外4年制）開設。
- ・本実践研究では「生涯の学びとしての、障害青年の『学校から社会への移行期』における継続的な学習の役割と課題」がテーマ。



学習プログラムの構成と実施体制

【効果的な学習プログラムの開発】

〈障害青年のための公開講座〉※3回実施（9月～11月）
「私もあなたもHappy Life～考えよう！生涯輝き続けるために～」をテーマにワークショップ形式の講座で自分の「これまで」と「これから」を肯定的に捉える体験と海外の先進的生涯学習の実態を大学教授から学ぶ講義で構成。



〈大学連携オープンカレッジ〉※3回実施（11月～1月）
「共に学び、共に生きる」がテーマ。書家の金澤翔子氏、泰子氏の講演会を障害青年と地域の大学生が準備（第1回）・運営（第2回）・ふりかえりと今後の学びの希望（第3回）の3回シリーズで実施する共生学習型のオープンカレッジ。並行して地域の大学（6校）相互の連携（交流授業5回）を展開し、交流と相互理解を深めた。



〈障害青年による成果報告〉※2回実施（12月、2月）
「障害青年のための公開講座」、「大学連携オープンカレッジ」の様子とそこで何が得られたのかを参加した障害青年が自分のことばで語り、学びを深めた。

【関係機関・団体との連携】

